

日本伝熱学会関西支部 第17期 第2回講演討論会

講演討論会：

日 時：平成22年8月2日（月） 13:30～19:00

会 場：神戸大学 六甲台キャンパス 社会科学系アカデミア館 4階404号室
神戸市灘区六甲台町2-1 （下記HPの11番の建物）

<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/seimon.htm>

13:30～14:15 藤田 和哉 氏（東レ）

題目：着用快適衣服の評価技術と商品設計

概要：我々は外環境によって着用する衣服を自ら選定し使い分けている。身体の外殻温度は環境によって左右され、一定の快適温度に保つため衣服は非常に重要な役割を果たす。衣服の保温性に焦点を当て、開発事例と共に紹介する。

14:15～15:00 山根 省三 氏（同志社大学）

題目：大気大循環モデルに見られる擾乱の発達について

概要：大気大循環モデルに成長モード育成法を適用して、モデル内で発達する擾乱の特徴を調べた。擾乱のエネルギーが比較的小さいときは熱帯の対流活動、大きいときは温帯の移動性高低気圧に伴う擾乱の発達が顕著に見られた。

15:00～15:20 休憩

15:20～16:05 竹森 利和 氏（大阪ガス）

題目：ミストサウナ入浴の7つの効用 ～皮膚表面の凝縮現象に起因する効用の連鎖～

概要：被験者実験により検証した、ミストサウナの7つの効用（温まり・発汗効果、肌水分量の増加、しわ・目立つ毛穴の減少など）について紹介し、それらの発現メカニズムについて伝熱解析等をもとに検討した結果を紹介する。

16:05～16:50 木下 進一 氏（大阪府立大学）

題目：ヒートアイランド熱負荷削減技術とその評価

概要：夏季の都市域におけるヒートアイランド現象を緩和する方策として、高日射反射率材料による構造物被覆、保水性舗装による日射の潜熱吸収が挙げられる。本講演ではこれら対策技術ならびに評価法について紹介する。

17:00～19:00 意見交換会 レストラン「さくら」（会費 3000円）

講演会・意見交換会のご出欠を神戸大学 村川 英樹（murakawa@mech.kobe-u.ac.jp）宛てに『7月27日（火）』迄にお知らせ下さい。